



実施の手引き

大阪市立東洋陶磁美術館

moc
OSAKA

目次

目次	2
事業概要	2
進行台本	3
記録写真	25
アンケート	27

事業概要

●名称

「カラフル☆アートクラス ゆてき♡ステキ」
(オンラインアート授業)

●目的

大阪市立東洋陶磁美術館が所蔵する国宝「油滴天目茶碗」の高精細画像を使用した映像や、高精度レプリカを活用した、新たな鑑賞・体験・学習モデルとしての小学生向けのアート鑑賞のオンライン授業プログラムを通して、児童たちが国宝「油滴天目茶碗」に親しむきっかけを作り、感性豊かな人材の育成と新たな鑑賞体験の提供へとつなげることを目的とする。



令和4年度文化庁Innovate Museum事業



進行台本

時間

M

コメント

PP

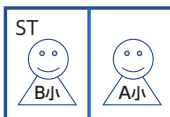
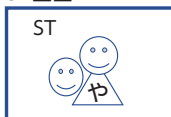
開始3分前



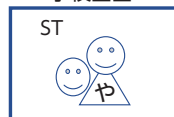
スタジオ①こやぎ&やすお自己紹介～授業説明～図作品介绍 5分00秒

00:00 自己紹介～授業説明 2分00秒

ST画面



学校画面



こやぎ： はじまりました～。

どうもー！“美術をもっと楽しもう！”を
モットーにしている「こやぎ先生」です。

やすお：そして私は、美術大好きユーチューバー
山上やすおです。

「やすお先生」って呼んでくださいね。

やすお：いつもはYouTubeを通して、美術の
素晴らしさを発信しているんですが、
今日はリモートで授業を担当させて
いただきます。みんなに、とっても
ステキな美術のお話をしますので、
よろしくお願いします！！

やすお：さて今日の授業、

「カラフルアートクラスゆてきステキ」
という名前がついています。

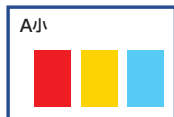
「ゆてき」って何だろうね。

今日の授業をしっかり聞いてくれば、
そのヒミツがわかるからね！一緒に
楽しく学んでいきましょう！



やすお：今日は、大阪市の2つの小学校と、インターネットでつながっているので、ちょっと声を聞いてみましょう。1人1人にカードが配られていると思うけど、みんな持ってるよね？そのカードを使って返事してください。

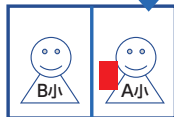
やすお：まずは「A小学校」〇年〇組のみんな！
赤・黄色・青、3色あるうち、好きな色は、何色ですかー！？



A小：(元気よく)※好きな色のカードを掲げる。
(※発声については先生に確認)

学校画面

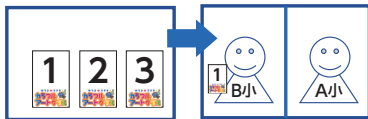
やすお：ありがとう！



やすお：では続いて「B小学校」〇年〇組のみんな！
今度は色ではなく、裏返すと数字が書いてあるよね。
1、2、3、のうち、好きな数字は？

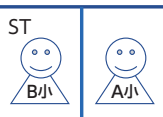
B小：(元気よく)※好きな数字のカードを掲げる。
(※発声については先生に確認)

学校画面

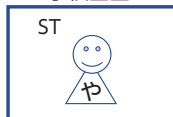


02:00

ST画面



学校画面



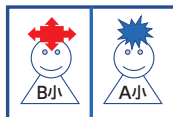
やすお：さて、今日は美術の話をするんだけど“美術”って聞くと、なんか難しく聞こえる？全然そんなことはなくて、みんなが図工の時間に作るものがあるよね。それも“美術の卵”みたいなものなんだよ。

やすお：今日は、みんなが図工の時間で作ったものを用意してくれていると思うけど、みんな見せてもらえるかな！？

ST

※ 2校児童全員、図工作品(絵画、工作)を掲げる。

やすお：おー、みんなすごい。
代表して誰かひとりのを詳しく見せてもらおうかな。
まずは「A小学校」からお願いします。



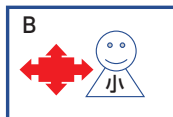
A小： ※事前に代表一人を選出いただき、やすお先生の呼びかけに応じてカメラ前に持ってきて見せてもらう



やすお：※こだわりポイントを聞き、一言感想。

やすお：次に「B小学校」。代表して誰かひとり、カメラの前に持ってきてもらえるかな！

B小： ※事前に代表一人を選出いただき、やすお先生の呼びかけに応じてカメラ前に持ってきて見せてもらう



やすお：※こだわりポイントを聞き、一言感想。

やすお：みんなありがとう！とてもよく出来ているね！！自分なりにアイデアを絞って作ったものは、他の人のものとは特徴が違うよね。もうそれは、世界にたったひとつしかない“作品”です！

やすお：もっともっとスゴイものを作れば“芸術・アート”になる。
“芸術・アート”って、例えば、絵や彫刻とかだけど、
どこに行ったら見られるか知ってる？

児童たち：※回答 びじゅつかーん。

やすお：そう、美術館だね！行ったことがある人も多いと思うけど、まず
初めに、美術館の芸術作品について、僕が動画にまとめてみました！
じっくり見てみてね！では、スタート！

VTR① 美術館とは～東洋陶磁美術館～学芸員の仕事 6分18秒

05:00

レオナルド・ダ・ヴィンチの「モナ・リザ」や、ゴッホの「ひまわり」。みんなもテレビや本なんかで見たことあるんじゃないかなって思うんだけど。これらは、絵画っていう芸術作品。

芸術作品には、絵画の他にも、彫刻とか、いろんな種類のものがあります。

そんな芸術作品がたくさん集められて、展示されている場所が、「美術館」です。

でも美術館に、作品が勝手に集まってくるわけじゃあないですよ。それは、専門知識を持った人が、集めて展示をしているんです。そのひとたちを・・・、

「学芸員」って呼びますね。学芸員はどんな作品を集めて展示したらいいか、美術館で毎日考えながら仕事をしているんです。

では、学芸員がどんな仕事をしているのか見てみましょう！

やってきたのは、大阪・中之島。「中央公会堂」っていうレトロな建物のお隣に、美術館があります

「大阪市立東洋陶磁美術館」。って、ちょっと名前が難しいんだけど。まず、「東洋」っていうのは、中国や韓国、日本なんかがあるアジアのこのあたりのことを、「東洋」って呼ぶのね。

「陶磁」っていうのは「陶磁器」ってことばなんだけど、ご飯を入れるお茶碗とか、おかずをのせるお皿で、ぶつかると割ってしまうのがあるよね。あれを難しい言葉で「陶磁器」っていうの。

要するに、東洋の陶磁器が集められた美術館、その名も「東洋陶磁美術館」ってことですね。

中に入ってみると、すばらしい陶磁器がた一つくさん！一度に展示できるのはおよそ300個。

美術館が持っている作品の中には国の宝、国宝もあるんです。

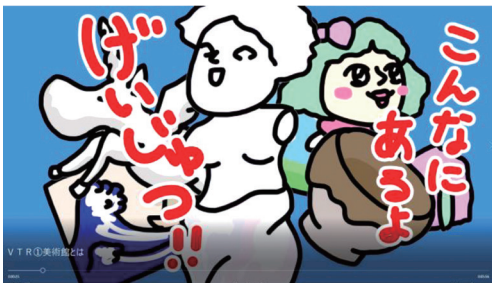
この方は「東洋陶磁美術館」で働いている学芸員の一人、宮川典子（みやかわ・のりこ）さん。

宮川さんは、みんなと同じ小学生の頃に、美術館で、とある絵を見たことがキッカケで学芸員を目指すようになったんだって。

それがこちら。

水墨画っていう墨で描かれた絵なんだけど、小学生のときに、この水墨画を見てステキ！と思った宮川さんはどんどん芸術作品に興味を持って学芸員の資格を取ったんだって。

みんなもステキな芸術作品との出会いがあったら、学芸員を目指してみるのもいいかもしれないね。



宮川さんたち学芸員の仕事は大きくわけて3つ。

- ① 作品を集めて保管する
- ② 展示する
- ③ 調べて伝える

それぞれ詳しく見てみるね！

まずは、作品を集めて保管する。

たくさんある芸術作品の中から、この美術館に合う作品を選び抜いて集めるのね。例えば、みんなもトレーディングカードとか集めるとき、もちろん自分の好きなものを集めるよね。それと一緒に。

集めてきた作品は保管も大切。芸術作品が割れないように、こうして布でしっかり包んで、専用の木箱に入れて大切に保管します。

2番目は「展示する」。作品はどうやって展示するかで印象も大きく変わるんです。

特に陶磁器は絵画と違って立体的だよね。だから「東洋陶磁美術館」では、自然のあかりを取り込んだりして工夫してんのね。

まあみんなが好きなフィギュアもそうだと思うけど、見る角度や明かりのあて方ひとつで、カッコよさが変わって見えるよね。

ちなみに、作品のそばにある、いつどこで誰が作った～みたいな解説文も学芸員が書いていますね。



3つ目が、調べて伝えること。

実は、学芸員の仕事でとても重要なのが調べることなんです。

いつどこで、誰が作って、どのようにして残ってきたかなんかを地道に調べることがとても大切。歴史的な大発見もあるかもしれないね。

そうやって一生懸命調べたことをたくさんの人に伝えることも大事で、今日のカラフルアートクラスも、みんなに美術の素晴らしさを知ってもらうために行われています。

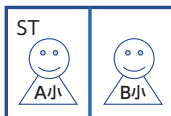
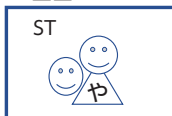
以上が、学芸員の主な仕事。

美術館の芸術作品がステキに見えるのは、
こうした学芸員の日頃の努力があるからなんだよね。

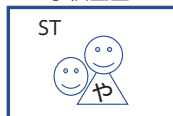
スタジオ② 学芸員について感想 3分12秒

11:18

ST画面



学校画面



やすお：美術館と、学芸員さんについて見てもらいました。
こやぎ先生、感想は？

こやぎ：(感想) ※学芸員さんすごい、美術館の見方が変わった、等

やすお：みんなにも感想を聞いてみようかな。

A小学校、B小学校のみんな、学芸員さんについて思ったこと、
感じたことなどがあったら、手を挙げて教えてください！

※児童たち挙手

やすお：たくさん手が挙がりました。

では〇〇小の、〇色の服を着ている人。等

児童： ※感想※下記1例

- ・学芸員さんは小さい頃から芸術が好きなんだと思った。
- ・芸術作品をたくさん集めるのは大変だと思った。
- ・展示の仕方で見え方が変わるところが面白かった。

※感想に対して、適宜、やすお&こやぎで受け答えをはさみつつ進行。
時間まで。

やすお：みんなから感想を聞くのはここまで。

のちほど、実際に美術館の人に質問するコーナーもあるので、学芸員さんについて聞いてみたいなー、って思った人は、あらためてそのときに質問してね！

やすお：さて「カラフルアートクラスゆてきステキ」、

いよいよここから、ゆてきの名前のヒミツが明かされます！
「東洋陶磁美術館」のある“お宝”について、また映像を作ってみました！

では、スタート！

VTR② 油滴天目茶碗 5分57秒

14:30

みんなは、茶碗と聞くと、何を思い浮かべるかな？

ご飯を食べるときに使う、ごはん茶碗を思い浮かべる人が多いんじゃないかなと思うんだけど。

でも、ご飯を入れるのに、漢字で“茶碗”と書くのはなんだか不思議だと思わない？ どころか「茶(ちゃ)」が出てきたんだって感じ。

でも、それは、茶碗はもともと、お茶を飲むための器として使われていたから、茶碗という名前がつけられたのね。ここからは、そのお茶を飲むためのお茶碗の話。

お茶の文化は中国から日本に伝わったんだけど、伝わったのはお茶だけじゃなくて、たくさんの茶碗も海を渡ってやってきました。

そのたくさんの茶碗の中には、とりわけステキなものがあって、え、ちょっと、めっちゃいけてるー！って、感激した人たちによって、何百年にも渡って受け継がれ今も残っているものがあるんです。

そのひとつが、この「油滴天目茶碗」。ほら、「ゆてき」の名前がとうとう出てきたね！

この油滴天目茶碗は、なんと、今からおよそ800年前に作られたもので、茶碗の中でも、最高傑作のひとつとされています。

全体的に黒っぽい色をしているんだけど、内側や外側に滴（しずく）のような模様がたくさんついているのね。

この模様が、金色や、銀色、紺色にきれいに輝いてそれがまるで水面（すいめん）に浮かぶ油の滴（しずく）みたいにに見えることから、油滴（ゆてき）という名前がつけられました。

油は（ゆ）とも読み、滴（しずく）は（てき）とも読むから、「油の滴」で「ゆてき」ですね。

器の下のほうは青っぽい色をしているけど、上に向かって徐々に緑や紫、金色に変わっていく・・・。

実は、この模様や色合いを作り出すのは、とっても大変！頑張って作れば狙い通りに作れるっていうものじゃないんだよね。



そこでちょっと、陶磁器の作り方について見てみよう。

陶磁器の原料は土。まずは濡れた土を伸ばしたり曲げたりして、形を作ります。

次に、それを窯に入れて時間をかけて焼き上げるとみんなが知っている、茶碗やお皿などの陶磁器が出来上がります焼いて作るから、日本では「焼き物」とも呼ばれているね。

ポイントは、この“焼いて作る”というところ。焼く温度や、何時間焼くとか、その設定次第で仕上がりは大きく変わるんです。

この「油滴天目茶碗」もそうやって作られたんだけど、その中でもとってめこだわって作られたんだよね。

ここは、中国にある、かつて「油滴天目茶碗」などたくさんの茶碗が作られていた場所。

まるで龍みたいな形をしている、この階段状の窯で作られていました。この窯の近くからは、たくさんの茶碗や道具のかけらがみつまっているんだけど、これ全部、作るのに失敗して、割って捨てられたものなんだって。

こーんなにたくさんの失敗作を出しながら、これだ!! と、目に留まったのが「油滴天目茶碗」という訳。すごいでしょ。

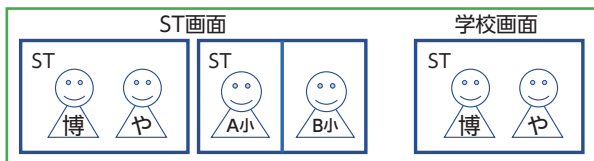
こうして奇跡的に生まれた「油滴天目茶碗」は日本に渡ったあと、あまりの美しさから、戦国武将豊臣秀吉の甥っ子、豊臣秀次が自分のものにしたり・・・、その後、時代ごとの権力者によって大切に受け継がれて・・・、

今では日本の国宝として、「東洋陶磁美術館」で保管されていて、訪れた人誰もが、気軽に見て楽しめるようになっています。

ということなんだけど、どう？ゆてき、ステキに見えたかな～？

スタジオ③ 油滴博士クイズ 14分33秒

20:27



油滴博士クイズ 14分33秒

やすお：という訳で、「ゆてき」の名前のヒミツは、
「油滴天目茶碗」からでした。
難しい言葉も出てきたけど、みんな
わかったかなあ。

やすお：映像をじっくり見てもらったところで、
「油滴天目茶碗」について、世界で1番
詳しい博士を呼んでみましょう。
小林さん！



小林： はい！人呼んで油滴博士です。

やすお：油滴博士！では、まず自己紹介をお願いします！

小林： 「東洋陶磁美術館」の、小林仁です。
※世界で一番くわしいなど、油滴博士たるご紹介を。

やすお：ここからは、「油滴天目茶碗」についてなんでも知っている
小林さんがクイズを出してくれます。
みんなが持っているカードで答えてね。

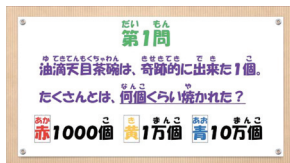
やすお：では、さっそく第1問！

小林：「油滴天目茶碗」は、たくさん焼かれたもののうち、
奇跡的に出来上がった1個だと、
先ほどの映像で説明がありました、
たくさんと言っても、
1回で、どのくらいの数か
焼かれたのでしょうか？
次の中からお答えください。

赤 1000個

黄 1万個

青 10万個



やすお：さあどれでしょう。

※児童 15秒くらいシンキングタイム。
やすお先生 自分の見解などでつなぐ。

やすお：みんないいかな、カードの色で答えてね。
では、どうぞ！

児童： ※カードの色を掲げる

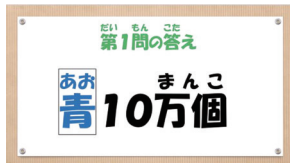
やすお：けっこう〇色、〇個が
多いですね。等

やすお：では油滴博士、答えを
お願いします！

小林： 正解は、青10万個です。

児童： ※リアクション

やすお：ちょっと想像もつかないですが、
10万個も焼かれていたって、
なぜわかるんですか？



- 小林：・さっきの映像でもありましたが、こちらが、かつて天目茶碗が焼かれていた窯。
- ・山の斜面に段々状に作られた登窯（のぼりがま）。全長135メートル。ビルの高さだと40階だてくらい。中国で最大規模。
 - ・1個ずつ粘土で作ったケースに入れて積み重ねて焼いていたので、1回あたり10万個以上焼けたと考えられる



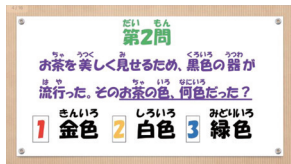
やすお：では、続いてまいりましょう。
第2問です！

小林： 中国ではかつて、「油滴天目茶碗」のような黒い色の茶碗が流行しました。
その訳は、中に入れるお茶の色を、より美しく見せるためでした。
そのお茶の色、何色だったのでしょうか？

- 1 金色
- 2 白色
- 3 緑色

やすお：さあどれでしょう。

※児童 15秒くらいシンキングタイム。
やすお先生 自分の見解などでつなぐ。



やすお：ではみんないいかな、今度はカードの数字で答えてください。
どうぞ！

児童： ※カードの数字を掲げる

やすお：けっこう〇番、〇色が多いですね。等

やすお：ではみんないいかな、今度はカードの数字で
 教えてください。どうぞ！

児童： ※カードの数字を掲げる

やすお：けっこう〇番、〇色が多いですね。等

やすお：では油滴博士、答えをお願いします！

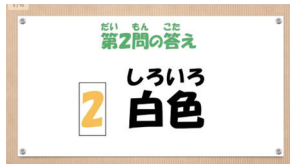
小林： 正解は、2：白色です。

児童：※リアクション

やすお：白いお茶なんて
 あるんですか？？

小林：・実際にお見せすると、
 こちら。

- ・京都と東京で茶道を
 教えている、茶人、
 木村宗慎(きむら・そうしん)
 さんをお願いして
 「白いお茶」を日本式で
 たてていただいた。
- ・使う茶葉の違いで
 白い色になる。



小林：・中国のお茶といえばウーロン茶は聞いたことがあるはず
 ・それ以外に、緑茶、紅茶、黒茶などたくさんの種類があり、
 白茶(白い茶)というものもある。

やすお：この「白茶」のために、
 「油滴天目茶碗」が
 作られたということですか？

小林：・当時の中国の皇帝や大臣は
 高級な「白茶」を好んだ。
 ・皇帝たちが好きなお茶を
 より美しく見せるために、
 黒い茶碗「天目茶碗」が盛んに作られた。
 ・当時のトレンドを反映した、
 いわば「インスタ映え」ならぬ「お茶映え」。



やすお：では、続いてまいりましょう。
第3問です！

小林：「油滴天目茶碗」は、中国から日本にもたらされた際、
器だけではなくあるものとセットで運ばれました。
それは現在まで器と一緒に保管されています。
それは一体なんでしょう？

赤 急須
黄 木の Spoon
青 木の台

やすお：さあどれでしょう。

※児童 15秒くらいシンキングタイム。

やすお先生 自分の見解などで
つなぐ。

やすお：ではみんな、カードの色で答えてください。
どうぞ！

児童： ※カードの色を掲げる

やすお：けっこう〇色、
〇〇が多いですね。等
では油滴博士、
答えをお願いします！

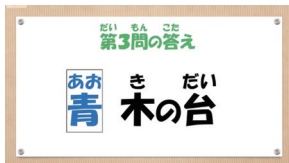
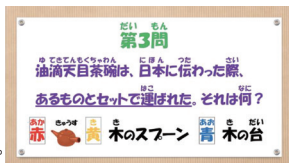
小林： 正解は、青 木の台です。

児童： ※リアクション

やすお：木の台というのは、どういうことでしょう？

小林： ・こちらが、その、木の台に
載せた様子。

- ・「油滴天目」に付属している
「天目台」と呼ばれるもの
こちら中国で800年ほど
前に作られた。
- ・日本の禅宗のお寺では
今でもこの「天目台」
にのせて天目茶碗が使われている。台にのせた状態でお茶を飲む。



やすお：では、続いてまいりましょう。
第4問です！

小林：「油滴天目茶碗」の、器のどこかに、
日本に渡ってきてから加えられた装飾、飾りがあります。
それは一体、どこでしょう？

赤 金色の縁取り
黄 滴模様の数
青 上部のくぼみ

やすお：さあどれでしょう。

※児童 15秒くらいシンキング
タイム。

やすお先生 自分の見解
などでつなぐ。

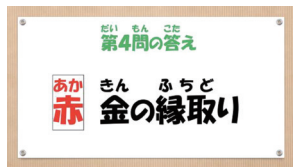


やすお：ではみんな、カードの色で答えてください。どうぞ！

児童： ※カードの色を掲げる

やすお： けっこう〇色、
〇〇が多いですね。等

やすお：では油滴博士、
答えをお願いします！



小林： 正解は、
赤 金色の縁取りです。

児童： ※リアクション

やすお： てっきりすべて中国で作られたと思っていましたが、なぜ縁取りを？
これは本物の金？

小林： ・これは純金。純度の高い金であることが分析でわかった。
・より豪華に見えるようにするため日本で装飾された。
黒い茶碗に金色、これもとても映える。



・お茶を飲む時に、金を口につける感じ想像してみてください。

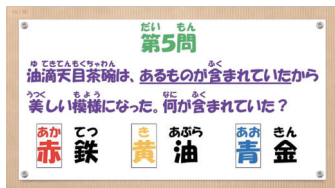
やすお：では、次が最後の問題です。
第5問です！

小林：「油滴天目茶碗」の油滴は、油の滴のような模様から日本でその名がつけられました。

この模様は、器に薄いガラス質のうわぐすりがコーティングされていて、焼かれて変化することでこのような美しい模様が生まれました。それは、実はこのコーティングにあるものが含まれていたからなんです。

それは一体
何だったでしょう？

赤 鉄
黄 油
青 金



やすお：さあどれでしょう。

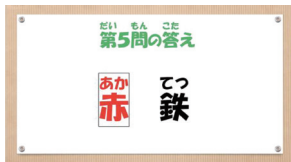
※児童15秒くらいシンキングタイム。やすお先生自分の見解などでつなぐ。

やすお：ではみんな、カードの色で教えてください。どうぞ！

児童： ※カードの色を掲げる

やすお：けっこう〇色、
〇〇が多いですね。等

やすお：では油滴博士、
答えをお願いします！



小林： 正解は、赤 鉄です。

児童： ※リアクション

やすお：「油滴天目茶碗」の模様、
鉄だからこそできたんで
しょうか？



小林： ・実は含まれる鉄分は5-8%
ほど。しかし、鉄分は、黒い色合いや油の滴模様の生成に欠かせない。
・鉄は、わずかな量でも出来栄を大きく左右する欠かせない原料。
・焼く時に酸素量などの条件によって、色の仕上がりは変わるが、
好条件が重なって「油滴天目」ができた。

やすお：クイズは以上です！
全問正解したって人いるかな～？

児童： ※全問正解者手をあげる

やすお：さて、ここまで学んできた「油滴天目茶碗」。
国宝なのでとっても貴重！油滴博士の小林さんしか触ることが
できません。でも・・・、もしかしたら、さわれるかも？
という取り組みがあるんです。動画にまとめてみました。
では、スタート！

VTR③ MoCoSS 3DCGの取り組み 2分22秒

14:30

これは、「油滴天目茶碗」の、ある特別なプロジェクトの様子。
レーザーで形を読み取って、これがどなるかと言うと・・・、

「油滴天目茶碗」とまったく同じ形の、3Dモデルの出来上がり

プロジェクトではさらに、「超高解像度カメラ」って呼ばれる、ものすごく
きれいに撮れるカメラを使って、「油滴天目茶碗」をありとあらゆる角度から
撮影。

そして撮影した画像を、パソコン上で丁寧に貼り付いてと・・・なんと、
本物そっくりの立体的なCGの出来上がり！
見てこれ、良くできてるよねえ。

さらに、さっき紹介した「油滴天目茶碗」の3Dモデルを使ってこんなこと
も。手で持って自由自在に動かして、自分の見たいところを映像で確かめ
られるんだね。

触ることができない、国宝「油滴天目茶碗」を、まさかこんなふうにしめ
るなんて！まるで自分でさわってるみたいでしょ。

さらに、戦国時代の部屋を再現したCGと組み合わせることもできて、朝
から夕方までの日差しの変化によって「油滴天目茶碗」がどんなふうに見え
ていたかを疑似体験できるのです。

みんなも戦国時代にタイムスリップしたつもりで見てみてね。

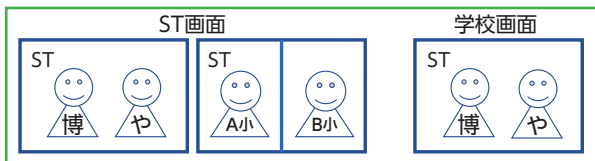
こうした最新技術を使った調査・研究によって、貴重な美術作品の謎が次々
とわかっていくんだね～。

VTR③ MoCoSS 3DCGの取り組み



スタジオ④ さわってみよう～質問～エンディング 7分38秒

37:22



さわってみよう：3分08秒

やすお：いやービックリしました。テクノロジーの進歩で、
これまでにない美術鑑賞が楽しめるんですね。

小林：・作品の見方は人それぞれ。決まりはない。
・アプローチする方法が増えれば、もっといろんな人がいろんな受け止め方をしてもらえるはず。
・本物そっくりの3DCGは、まさにそのため。「油滴天目茶碗」は、普段さわることができないが、レプリカに触って、自分なりに感じ取ってほしい。

やすお：実は、僕の手元には・・・、じゃん！「油滴天目茶碗」のレプリカがあるんです！色は塗られていませんが、これだけでもとても貴重なんですよ？

小林：「油滴天目茶碗」とまったく同じ形のものが作れたというのは今回初めて。手に取って感じることも多い。

やすお：ということなんだけど、みんながもし、「さわりたい！」と思ってくれたら、これを届けることができるかもしれない。どう？さわりたい？

児童： さわりたいーい！

質問：3分00秒

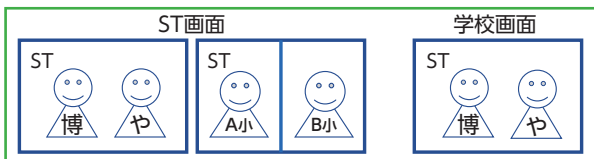
やすお：うまく届くかなー、じゃあ行くよー！

※各教室、先生が隠し持っていたレプリカを皆へ。

※授業2回目は、配布されいない教室あり。

児童： ※リアクションひとしきりあり

40:30



やすお：では、みんなにさわってもらいながら、最後に質問を受け付けます。質問がある人は手を挙げてください。

児童： ※挙手して、やすお先生があてて児童が質問

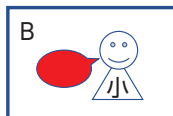
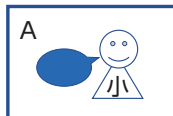
※小林さんが返答。時間まで。

児童： ※質問※下記1例

Q：油滴天目、どうして小林さんだけ触れるんですか？

Q：もし落として割っちゃたらどうなるんですか？

Q：同じような価値ものは日本にいくつくらいある？



43:30

エンディング：1分30秒

やすお：では質問はここまで！カラフルアートクラスの授業も、残りわずかとなりました。みんなに「東洋陶磁美術館」に行って、是非実物の「油滴天目茶碗」を見に行ってもらいたいところだけど、実は、油滴博士から大切なお知らせがあります。

小林：「東洋陶磁美術館」、実は今、改装工事を行っているため、休館中なんです。残念ながら今は来てもらっても美術館の中には入れません。

時間

M

コメント

PP

小林： みんながもっともっと楽しんでもらえるように、頑張ってパワーアップ中です。
 来年春、リニューアルオープン予定なので、完成したら是非きてくださいね！
 「油滴天目茶碗」もみんなを待ってます！



やすお： 楽しみに待っていきましょう！では、授業のおしまいにみんなで今日のタイトルを元気よく発声しよう！
 僕と油滴博士の小林さんが、「カラフルアートクラス」と言うので、続けてみんなは「ゆてきステキ」って言ってくれるかな？

やすお 小林さん：「カラフルアートクラス」！

児童： 「ゆてきステキ」！

やすお： バッチリです！みんなどうも、ありがとう～。

授業終了

質問：3分00秒

45:00



記録写真



スタジオの様子



こやぎ先生と油滴天目茶碗レプリカ(右)

アンケート

【回答数】 先生 6 児童 150

(内訳)

大阪市立〇〇小学校先生 1 児童 3 3

大阪市立〇〇小学校先生 5 児童 1 1 7

【回答結果：先生】

①児童にとっての本プログラムの満足度はどれくらいだと思いますか？

1. 大変満足 2. 満足 3. ふうふう 4. あまり満足していない
5. まったく満足していない
1. 83% 2. 17% 3. 0% 4. 0% 5. 0%

②その理由は？(児童のどんな様子を見て、そう感じましたか？)

- ・クイズなどで、驚いている児童や喜んでいる児童が多かったから。
- ・授業が終わった時に、「おもしろかった！」「よくわかった！」「美術館早く行きたい！」の声があがったので。
- ・レプリカを触って、興味深そうにしていたから。
- ・オープニングからワクワクして取り組んでいて、説明の動画も楽しそうに見ていました。
- ・陶器の鑑賞だったので、どうなるのかなと思っていましたが、子どもたちはとても楽しそうにしていました。など

③児童にとって、授業の内容は分かりやすかったですか？

1. わかりやすかった 2. わかりにくかった
1. 83% 2. 17%

④分かりにくかったという方は、どんなところが分かりにくかったと思いましたか？
また、改善点があれば教えてください。

- ・もう少し子どもたちが主体になる時間があってもよかったかもしれません。
- ・小学校3年生にとっては、初耳な事柄が多かったため。

⑤授業時間の実施時間について、いかがでしたか？

1. ちょうどよい 2. 長かった 3. 短かった
1. 100% 2. 0% 3. 0%

⑥授業の受講後、授業内外の時間で児童たちと美術館や油滴天目茶碗について話したり、何かする機会がありましたか？

1. はい 2. いいえ

1. 100% 2. 0%

⑦前の質問で「はい」と答えた方にうかがいます。児童たちとどんなことを話しましたか？何をしましたか？

- ・美術館に行ったことがある？という話や、本物の油滴天目を見てみたいね、という話。
- ・美術館に行ったことがあると言ってきた児童、レプリカがすごかったと話していました。
- ・国宝と同じ物を触れた。
- ・もっと早くに東洋陶磁美術館をオープンしないかな。など

⑧本プログラムのような鑑賞教育を目的としたオンライン授業をまた受けてみたいですか？

1. はい 2. いいえ

1. 100% 2. 0%

「はい」と答えた方へ

どのような内容の授業が受けてみたいですか。

- ・同じように他の芸術も深く知ることができる授業が受けてみたい。
- ・実物の力はやはりすごいので「見る」「触る」などの機会がいいですね。
- ・今回のようにオンラインではあるものの、実際に触ることができるような授業。など

⑨本授業の受講に際し、児童に望まれたこと、ねらい等を教えてください。

- ・貴重な経験であるということ。
- ・美術館の役割について知る。
- ・美術品にかかる学芸員の方の熱意。
- ・国宝のすごさ、美しさ。
- ・とにかく楽しむことなどを伝え、芸術についてはより深く知ることをねらいとした。など

⑩授業全体に関する感想・ご意見・ご要望をお聞かせください。

- ・クイズ番組のように札が用意されていたり、おもしろいアニメの解説があったり、ずっと興味をひきつけられるものばかりで楽しかったです。
- ・楽しい授業をありがとうございました。美術館や学芸員のお仕事、そして油滴天目茶碗について知れて良かったです。子どもも私自身も楽しめました。
- ・子どもたちがとても楽しそうに授業を受けていました。ありがとうございました。
- ・本当に楽しく充実した内容でした。構成力、技術力、企画、調整力もさすがだなと思いました。また機会をつくって、一緒に図工、美術を通して、子どもたちに経験やきっかけを与えられればと思います。など

【回答結果：児童】

①美術館が何をしている場所か、わかりやすかったですか？

1. わかりやすかった 2. わかりにくかった
1. 97% 2. 3%

②学芸員の仕事内容はわかりやすかったですか？

1. わかりやすかった 2. わかりにくかった
1. 96% 2. 4%

③「油滴天目茶碗」について勉強して、実物を見てみたいと思いましたか？

1. とても見てみたい 2. 見たくない
1. 94% 2. 6%

④「油滴天目茶碗」のレプリカを触った感想を書いてください。

どんなことでも結構です。

- ・油滴天目茶碗のレプリカを触って、実物を見に2024年春に美術館に行こうと思いました。
- ・レプリカで落としたりやばいと思った。手が震えた。
- ・司会のひとと、茶碗博士がおもしろかった。
- ・あれでお茶を飲んでいる所を想像して触ってみたいけど、なんかおいしそうでした。
- ・全部が忠実に再現されてて、触った時にめっちゃ厚くて触り心地がよかった。
- ・モデルを触っているけど、目をつぶってみたら、本物を触っているみたいでした。
- ・レプリカでも触るのに緊張するほどすごいもので実際に実物を見てみたいと思いました。
- ・外の部分がでこぼこで持ちやすかった。国宝のレプリカを触れてうれしかった。
- ・金色のフチの部分はつやつやしていて、油のしずくのような部分はザラザラぼこぼこしていて、茶碗の底を触ると本当に土で作られているかのような触り心地でした。など

⑤今日の授業は楽しかったですか？

1. はい(楽しかった) 2. いいえ
1. 98% 2. 2%

⑥授業の内容はわかりやすかったですか？

1. わかりやすかった 2. わかりにくかった
1. 97% 2. 3%

「わかりにくかった」と答えた方へ

どんなところがわかりにくかったと思いましたか？

- ・日本語の言葉が難しい。
- ・油滴天目茶碗を見たら点のところがちょっとわかりにくかった。
- ・茶碗の受け継ぐところ。
- ・クイズの時、油滴天目茶碗が知らなかったけど簡単に教えてくれて嬉しかった。

⑦このような授業をまた受けてみたいですか？

1. はい 2. いいえ

1. 91% 2. 9%

「はい」と答えた方へ

どのような内容の授業が受けてみたいですか。やってみたいことを書いてください。

- ・ほかの国宝について知りたい。
- ・油滴以外のいろいろな陶器について。
- ・油滴天目茶碗をもうちょっと長く触って感想を言いたかった。
- ・昔のいろいろな道具についてやってみたい。
- ・絵画のレプリカに触ってみたいです。

⑧今日の授業についての感想を書いてください。

- ・授業の内容が分かりやすかった。絵で表現されている事も多くて分かりやすかった。
- ・本物の茶碗を触りたいと思った。
- ・今日の授業から油滴の意味が詳しく分かり、このような茶碗についての歴史や作られ方などもよく詳しく分かりました。
- ・油滴天目茶碗の歴史や秘密について、詳しく知れて嬉しかったです。
- ・初めは「ゆてき」ってなに？と疑問でしたが、とってもステキなものだと感じました。
- ・東洋陶磁美術館を知って行きたいと思った。
- ・授業を受けて、光は作品に大きな影響を与えてと思いました。「油滴天目茶碗」は一見普通に見えても、見れば見るほど神秘的で美しいからこそ、受け継がれ、国の宝になったのだと思いました。もっとたくさんの作品に触れたいと思いました。楽しかったです。
- ・ぼくは自分自身の力で絵を描いたり物を作ったりするのはあまり好まないですが、美術館に行って作品を観賞するにははすごく興味があったのですごく楽しかったです。あと、話している人の声が良かったです。
- ・昔の歴史について学びました。そして昔の物はこんなにも大切にされてきたんだなと思いました。こんな事をしてくれてありがとう。
- ・油滴博士が出してくれたクイズがとてもおもしろかったです。
- ・すごくわかりやすかったです。油滴天目茶碗はいっぱい失敗しながら作ったのと思って、昔ってすごい。

大阪市立東洋陶磁美術館
「カラフル☆アートクラスゆてき♡ステキ」
実施の手引き

編集 大阪市立東洋陶磁美術館
編集協力 NHKエンタープライズ
発行日 令和5(2023)年3月10日
発行 大阪市立東洋陶磁美術館
©大阪市立東洋陶磁美術館

 **文化庁** 令和4年度文化庁 Innovate Museum事業

ゆてき ♥ ステキ

カラフル
アートクラス



大阪市立東洋陶磁美術館

mOC
OSAKA